

村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

dewa shonai



1月24日 新年を祝う会



とくしゅう 特集

2003年 秋の行事あれこれ

こくさいこうりゅうだんたいしょうかい 国際交流団体紹介

しょうない かん こう 庄内観光コンベンション協会

きょうかい NPO法人

ワールド・ヌック庄内

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 34

Quarterly



アマゾン民族館

開館時間 9:00 ~ 17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

モンゴル草原の生活と文化展 好評開催中

あれこれ

国際村の新しい試みの事業
 「English Camp in Sanze」
 国際理解事業の一環です。

English Camp in Sanze

十一月七日(金)～九日(日)に三瀬コースホテルで、英語で過ごす二泊三日のキャンプが行われました。このキャンプは、中学三年生と高校一年生を対象で、募集をかけたところ十五名の参加者が集まりました。指導者は、外国語指導助手(ALT)と英語を話す日本人スタッフで参加者とともに楽しい生活を過ごしました。

このキャンプの目的は、生活の様々な場面で体験的に楽しく英語に触れる機会をつくり、言葉や文化を学ぶことを目的としました。

このキャンプのメインのお話作りというプログラムは、選んだ数枚の絵のカードを組み合わせて、話がつながるように物語を作り、それを英文にし、最終的には、衣装や自分達で作成したお面や小道具を使って演劇をしました。

参加者達は、英語に自信がついたのか、最終日には、一回りも二回りも大きくなったように感じられました。充実した楽しいキャンプとなりました。



全員で集合写真お疲れ様でした



終了証書授与式



初めての味に舌つづみ中東料理



みんなで楽しくゲームパーティー



朝二小での国際理解授業

シャプラニール

ぜんこく
 全国キャラバンが
 やって来た!

去年の十一月十二日・十三日と、シャプラニール市民による海外協力の会「全国キャラバンが鶴岡を訪問しました。このキャラバンは、会場のスタッフが全国各地をまわり、現地活動の様子などをお話するといったもの。今回は、バン

グラデシユでの小学校では、バングラデシユの子ども達が何を思いながら生きているかを、自分自身と比較しながら深く考えました。国際村のカレーの夕べでは、鶴岡在住の留学生の皆さんが手作りカレーを振る舞い、参加者全員がバングラデシユ式の作法で堪能しました。和やかな雰囲気の中、バングラデシユに思いを馳せたひと時でした。

また国際村では「バングラデシユのお話とカレーの夕べ」を開催しました。

現地活動を終えて帰国したばかりの藤崎文子さんをお招きし、朝陽第二小学校、黄金小学校、斎小学校でのワークショップ、また国際村では「バングラデシユのお話とカレーの夕べ」を開催しました。



美しいサリー姿の藤崎さん

異文化コミュニケーションセミナー in 三瀬

シャプラニール

「全国キャラバンがやって来た」
大人も子供も国際理解を深めました

秋の行事



みんなわかってくれたかな？



絵を組み合わせてながらストーリー作り



芝居も自分達で考えました



指導者に聞きながら四苦八苦



発表会の初まりです



劇で使う小道具作り

おはなし作りの様子

(3日目)

12:00	11:00	10:00	9:30	9:00
解散	終了式	ゲーム	朝食	起床

(1日目)

24:00	21:00	20:30	20:00
就寝	千と千尋の神隠し (英語バージョン)	グループ分け、ゲーム	三瀬コースホステルに集合

(2日目)

24:00	20:30	19:00	18:00	15:00	14:00	13:00	12:00	10:00	9:00	8:30	8:00
就寝	ゲームパーティー	演劇発表	夕食 (中東料理)	演劇練習	英語でクッキー作り	お話し作り	昼食 (サンドウィッチバー)	お話し作り	宝探しゲーム	朝食	起床

プログラム

異文化コミュニケーションセミナー in 三瀬

文化が違うってどういうだろう？。違う価値観の中でもコミュニケーションは成立する？。

そんな疑問への答えを見つけるヒントになればと、財団では、11月15日、三瀬のユースホステルを会場に「異文化コミュニケーション in 三瀬」を開催しました。実際にアメリカで暮らす講師の村治孝浩氏のセミナーには18名の方々が参加。

セミナーでは、私たちが普段何気なく使っている「カルチャー」などの言葉の意味を改めて考えることからスタート。そして、日本の家庭にホームステイした学生や日本の学校に派遣されてきたALT (外国語指導助手) の人たちのコメントから、日本人と欧米人の意識と行動様式の違いを分かりやすく、論理的に解説していただきました。

また、いろいろな国の国民性でコミュニケーションの

取り方、そして社会的に相手に期待されることも異なっていることを提示。この違いを認識した上で他の人たちとの係わり、いわゆる異文化との係わりを改めて考えていくことが重要とのことでした。

参加者は、実際のアメリカ社会での生活感があり分かりやすかった、また異文化をなんとなく認識するだけでなく、論理的にとらえることができた、などの感想が寄せられていました。今後も企画していきます。ご参加ください。



アンデス文明展

インカとその未裔

ついにオープン

昨年三月八日から開催していた「モンゴル草原の生活と文化展」も、いよいよ二月十四日で終了し、新しい特別企画展示が三月六日(土)からスタートします。

今年(とし)はアマゾン民族館が開館してから十周年ということもあり、山口吉彦館長がアンデス地域にいたころ収集し、長年収蔵庫で眠らせていた数々の資料に加え、昨年六月から七月にかけてペルーに調査に行った際収集した資料、約千点にも及ぶ資料の中から厳選して展示します。

企画展示名は、「アンデス文明展『インカとその未裔』」南米ペルー、ボリビアの二カ国を対象とし、アンデス文明の夜明けから現在に至るまでを時代と地域に分けて、石器、土器、織物、民族衣装の他にも、アンデスの栽培植物等にも焦点を当て、幅広く展示し、アンデスの文化を皆さんに紹介していきたくてと思っています。三月六日のオープニングにもぜひ来て下さいね。



オープニングのご案内

日時：平成十六年三月六日(土)
午前十時から
民族館内でオープニングセレモニー、テープカット、館長による「アンデス文明展」解説等
午前十一時から：国際村ホールで南米のフォルクロレグループ「キラコ」のコンサート
入館料：三月六日(土) 当日のみ無料

キラコ QUILAKO



ここで「アンデス文明展」オープニングに来てくださる、南米のフォルクロレグループ「キラコ」について紹介します。

グループ名「キラコ」はインディオのマプチエの言語からきたもので、キラは三、コは水を表し「三つの川」という意味です。彼らの演奏は、川の流れのように優しく時に激しく聴く者の心に響きます。メンバーそれぞれが、今まで沢山の経験を積み重ね現在のグループを結成するに至り、より多くの方々に南米音楽の素晴らしさを伝えようと、全国各地で様々なイベントに参加しています。

実は、平成九年の「中南米楽器展」の時に、民族館の為に演奏して頂いたこともあり、キラコのメンバーがぜひまた鶴岡で公演をしたいという思いと、私共のぜひまた彼らにお願したいという思いが偶然にも一致し、今回の公演につながる事となりました。

メンバー全員が鶴岡での公演を楽しみにしています。ぜひ、彼らの音楽を聴きにきて下さい。

外国等児童と保護者のための小学校紹介冊子



『私たちの小学校』が



完成しました

「学校からのお便りが読めない」「日本の小学校のしくみがよくわからない」「お弁当ってどんなかな?」

そんな声をきっかけに、国際村では鶴岡市の教育委員会、そして現場の先生方と共同で、外国籍などの児童や保護者むけに小学校紹介冊子を作成しました。



ページごとに外国語表記された小学校紹介冊子

現在鶴岡市の小・中学校には、外国籍や日本に帰化した児童・生徒が二十名ほど就学しています。日本の家庭の中で生活していれば、あまり疑問に思わない学校の生活それが習慣やルールの違う外国から転入してきたり、保護者の方が日本の学校生活をよく知らなかったりする場合は大変です。言葉の問題は想像以上に大きいのです。教師と児童、家庭と学校とを少しでもスムーズにつなげようと、この紹介冊子はできました。

どんな冊子?

小学校生活に関する事項を十項目に分けて記載しました。内容は次の通りです。
学校生活とときまり
持ち物
行事カレンダー
学校集金の方法
PTA関係、保護者会、他
休業中(春・夏・冬)課題、
プール開放、他
校外学習、自然教室、修学旅行
運動会、校内水泳大会、スケート教室、他
学芸会、音楽会
転入学時の説明、予防接種、他

どんなふうに使うの?

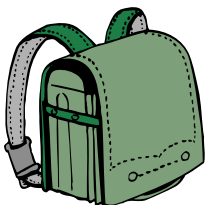
日本の小学校の場合、保護者が学校に関わったり、学校行事に参加したりできる場合が多くあります。本冊子では、保護者の関わりもできるだけ分かりやすく記載しました。

冊子は差し替えや取り出しが自由なポケット式ファイルです。見開き二ページが一組になっており、左ページポケットには日本語版、右ページポケットには

どつやったら手に入るの?

鶴岡市内の全ての小・中学校と鶴岡市教育委員会、国際村には置いてありますので、閲覧等の場合は各機関にお問合せください。また、その他の必要な方や団体には一冊3000円(送料込み)で販売しています。

鶴岡市の小学校で使えるものを、という事で作成した本冊子ですが、基本的な情報はどの小学校でも共通に活用できるものになっています。ぜひご利用ください。また、さらに使いやすい冊子になるよう、皆さんのご意見もお待ちしています。





感動したこと、楽しかったこと、勉強になったこと、おいしかったこと

いろんなことがありました



大地の会

チャリティーコンサート

美しいメロディーに想いを込めて、たくさんの感動を届けました。



2003.11.3

出羽庄内国際村音楽祭

～小坂忠ゴスペルコンサート～

ワークショップも行い、コンサート当日のステージ共演も実現しました。



2003.8.24

アマゾン夏休み

子どもフェスティバル

カラフルな頭飾りやブラジルのパンを作って楽しみました。



2003.8.9

世界の料理クラブ

15年度の新事業として発足した

『世界の料理クラブ』

身近にある食材でおいしい世界料理が楽しめます。

中国、ロシア、ベトナム、カナダ、ニュージーランド料理と多種多彩。とにかくおいしい!!



2003.9 ロシア料理



2003.11 ベトナム料理



2004.1 カナダ料理

これからの国際村

おとなのための英語セミナー

2月13、14日(金、土)

対象

高校生以上ならどなたでも参加いただけます。

ただけです。

* 申込みが必要です。

世界の料理クラブ

～ケージャン料理～

3月中

参加費：800円(会員無料)

定員：15名

* 申込みが必要です。

アマゾン民族館特別企画展

『アンデス文明展』

オープニングセレモニー

3月6日(土) 10:00～

どなたでも参加いただけます。

* 詳しくは国際村まで。

日本文化体験学習 器の会

甘くておいしい白玉団子、ごま豆腐作りなどに挑戦しました。



2003.12.7

管内施設見学会

外国出身のみなさんが、早く庄内の生活に慣れてくれますように。



2003.11.3

こくさいむらのクリスマス

迫力ある太鼓、歌、ジャズ演奏。それにおいしい家庭料理で大満足!



2003.12.21

サンタさんがやってくる!

こども達の人気者、サンタクロースが今年も国際村にやってきました。



2003.12.13

このほかにも、『アフリカの馬拉ウイのお話を聞く会』、『フレンドシップサロン・コロラド文翔塾報告会』、国際交流専門員などが学校に向くでまえこうざ、アマゾン民族館を中心にした小学生の総合的学習、中学生の職場体験など、幅広い活動を行いました。皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。



国際交流員 通讯



こくさいこうりゅう
国際交流
せんもんいん
専門員からの
お知らせ

光阴似箭，转眼一年又过去了。在过去的一年里，国际村除了举办各种大型的国际交流和文艺活动以外，还做了大量具体的援助在住外国人的工作。作为国际交流员，我除了参与以上的工作以外，还担当电话和窗口的咨询。工作中，我不仅接触了许多在庄内居住的外国人，同时也接触了一些与中国有关系的日本人。在这些客人中，有来咨询日本的入管法、年金制度等法律问题的，也有关于子女的入学入托、家庭纠纷等日常生活琐事的。被咨询的问题中，有一部分是有法可依、有据可查的，但更多的是由于生活习惯、思维方式及个人的性格不同而造成的。比如：中国人相对来说比较爱叫真，特别是人与人之间发生纠纷或矛盾时，都想有个明确的结果，不仅大人是这样，孩子之间发生了矛盾，老师或家长也要判明谁对谁错？错在哪里？为什么错？今后怎么办？不这样做的话，老师或家长就会被认为没有尽到责任，甚至是不称职。另外，在中国除了边远地区以外，男女共同参政议政，同工同酬，基本已做到了男女平等。在家庭中由于夫妇都有工作，所以像购物、做饭、洗衣服、打扫房间、抚养教育孩子等家务就得由夫妇来共同承担。同时由于夫妇都有较固定的收入，所以经济上也相对独立。因此，具有这样经历的女性嫁到日本，特别是嫁到那些由婆婆掌权管家，丈夫什么也做不了主或是大男子主义，又不帮做家务的家庭，要适应这样的生活，是很不容易的。像这样的不同点还有许多。其实，如果能把自己的想法和自己国家的习惯完整地表达出来的话，我想其中相当一部分问题是能得到解决的。但由于语言不通，根本无法相互沟通，导致误会积少成多。为了帮助大家解决这样的问题，我在接受客人的咨询时，不仅要准确无误地把各自要表达的意思传达给对方，同时还要把我所知道的中国和日本的一些习惯介绍给双方。

通过一年多来的工作，我深深地感到了这项工作的重要性和责任感。同时我觉得人与人之间的交流是不分国界的，关键是要相互理解，相互尊重，相互谦让，什么事儿不要只想到自己，尽可能多从对方的立场考虑，这样会减少许多误会和烦恼，使我们各自的生活过得顺利而充实愉快。

最后，希望在您或您的朋友，遇到语言障碍或其它困难需要我们的时候，请来国际村，我们会尽量帮助你们的。

光陰矢のごとし。あっという間に1年が過ぎました。去った1年の間に、国際村では様々な国際交流行事やイベントを行っただけでなく、色々具体的な在住外国人の支援活動もしました。国際交流専門員である私はそのような仕事に関わる以外に、電話や直接来館した方々への生活相談も担当しました。仕事上、私は庄内の在住外国人、中国に関わる日本人とつき合わせていただきました。受けた相談の内容は入国管理法のこと、日本年金制度のことなどの法律問題がありましたし、子どもの学校や幼稚園の問題、家庭の夫婦関係、嫁姑の関係等の日常生活に関わる問題もありました。その中の一部は法律やルールによって解決できますが、多くのは生活習慣や考え方、個人の性格の違いによって出てきた問題だと思えます。中国人は割と黒白をはっきりさせたい傾向にあります。特に人と人の間にトラブルが発生した時には、良し悪しを明らかにさせたいのです。このようなことは大人だけではなく、子どもの間にもいえます。子どもの間でトラブルがあった時、先生か親は子どものどちらが正しかったか、どちらが悪かったか、何が悪かったか、どうして悪かったか、これからどうすべきか等々を判断しなければならない。ここまではっきりさせないと、責任を持たなかったと思われ、極端に言うと失格です。また、中心地から遠く離れた地域は別ですが、中国では男女とも政治に参加し、同じ仕事に対して性別などの区別なく同一の報酬を与えます。ある意味で既に男女平等になっています。家庭では、夫婦とも稼ぐので、買い物、料理、洗濯、掃除及び子育てなどの家事も全部夫婦が分担しています。夫婦とも安定した収入があるので、経済にも自立性があります。このような経験がある女性が日本人と結婚した場合、夫の家は姑さんが家の権力を握っていて、ご主人のほうは全然自立していないまたは亭主関白でしかも家事は何もできない、何もしないということがあります。このような生活に慣れるまでは相当大変だと思います。このような違いはまだ沢山ありますが、もし自分の考えと母国の習慣をちゃんと相手に伝えれば大分解決できると思えます。しかし、言葉の壁があって意思の疎通は全然できなく小さい誤解が積み重ねて大きい問題になってしまいました。ですから、皆さんの悩みと問題を解決するため、相談を受けている時には、お互いの意思を正しく通訳するだけでなく自分がわかった中国と日本の習慣なども紹介しなければならないです。

この一年間の仕事を通して、この仕事的重要性和責任感に身にしみて感じました。そして、人と人の交流は国境がなく、大切なのはお互いに理解し、尊重し、譲り合うことです。どのことでも自分の立場だけではなく、できるだけ相手の立場を考えれば、誤解や悩みは少なくなり、生活が楽しくなると思っています。

最後になりますが、もし、あなたやあなたの友達が言葉や習慣などで悩んでいたら、遠慮なく国際村において下さい。こちらで全力支援いたします。

国際交流団体紹介

~ 庄内に広がる国際交流 ~

NPO法人ワールド・ヌック庄内



One World One Family

かいいんすう 60人
 会員数：60人
 ていれいかい りじかい まいつきいっかい
 定例会：理事会は毎月一回
 ほかに ずいじ
 他は随時
 かい ひ えん ほうじん
 会費：年10,000円（法人）
 えん せいがいじん
 5,000円（正会員）
 えん さんじよかいじん
 3,000円（賛助会員）
 れんらくさき しむしょ
 連絡先：ヌック事務所
 Tel.0234 - 24 - 3220

「私達が困った時どこに相談すればいいの。気軽に話を聞いてくれる所はないの。」そんな願いから発足したのがNPOワールド・ヌック庄内。国籍にとらわれずに誰もが地球市民として生活できるための支援や国際交流・協力を目的として活動をしています。

主な活動として7月末にコロラド大学ボルダー校 生徒・引率21名の受け入れ、鶴岡東高校生との交流 ホームステイの実施。10月末から公益文科大学支援事業の各講座を地域の小学校の総合学習、でJICAのOBの方々から協力を得て実施。また12月には各国自慢の料理を持ち寄ってのクリスマス会。その他パソコン指導（外国人支援）や世界の料理講習会や会話教室などを計画中です。会員の皆さんの協力を得て楽しく国際交流をしています。



世界の食卓（西荒瀬小学校・親子で料理）

かいいんすう 222団体
 会員数：222団体
 かい ひ くち まんえん
 会費：1口2万円
 れんらくさき しやうないかんこう
 連絡先：“庄内観光
 コンベンション協会”
 まつもと たる
 松本 亘 TEL 0235・68・2511

平成12年4月、観光施策の効果的な展開と各種大会誘致による交流事業推進のため、庄内コンベンションビューローと庄内観光協議会が合併して当協会が発足しました。コンベンションビューロー時代の平成8年に開催された日米国際草の根交流サミット山形大会をお手伝いしたご縁で、何度か庄内の国際交流事業に関わってまいりましたが、現在は主に山形大学農学部や東北公益文科大学で開催される国際会議や学会の支援を中心に事業を進めております。当時からお世話になっている通訳ボランティアの会は、庄内の特長的な国際交流支援グループの一つとして全国の大会主催者や学会関係者に紹介しており、国際学会等の開催時には、会員有志の方々から今でも通訳ボランティアとしてご協力をいただいております。



『US教育者来庄プログラム』での交流レセプション風景

国際会議の支援の充実を図って

庄内観光コンベンション協会